



ランドセルからできるSDGs

—
長野県上田染谷丘高校1年
氏名 上田美凰

この課題に関するSDGsの番号



4. 質の高い教育をみんなに

10. 人や国の不平等をなくそう

12. つくる責任 つかう責任



現状

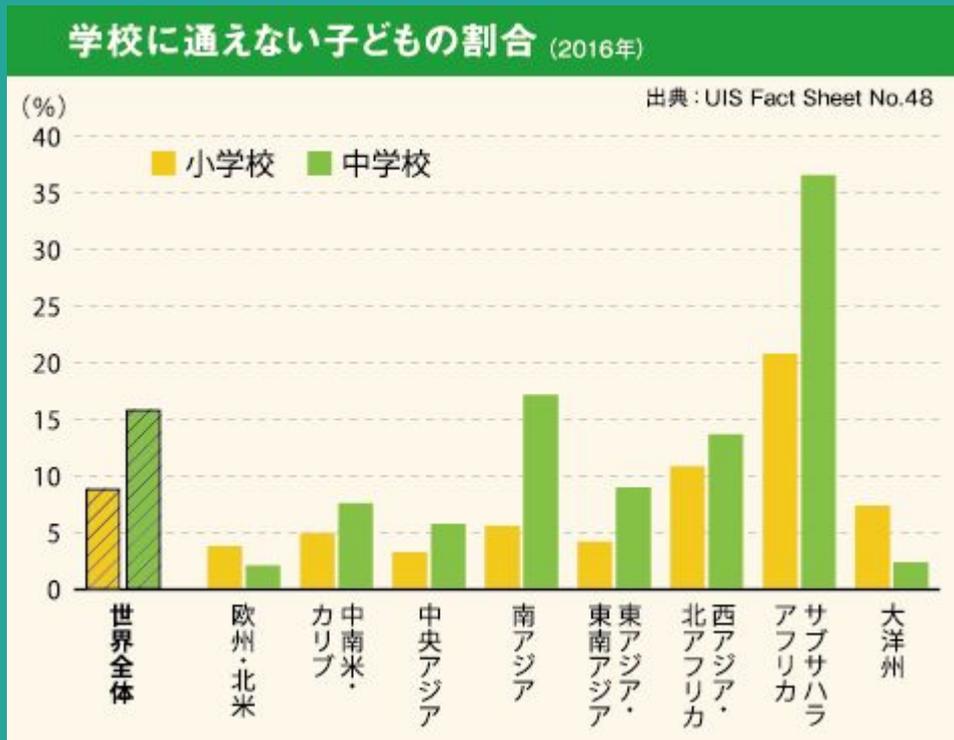
ランドセルなどの学用品を寄付せず処分や保管している家庭が多い。また、海外にはまだ「女の子に勉強は必要ない」という考えが根強く残っている地域があり、教育を十分に受けられない子どもたちがいる。

<https://mirasus.jp/sdgs/quality-education/8154>

課題

国によって教育格差の差が大きく開いており、とくに途上国での学校に通えていない子供の割合が多い。その国の中では、周囲の考え(武装勢力)により教育をうけることができない子どもたちもいる。

https://www.jica.go.jp/Resource/publication/mundi/1804/201804_02_02.html



解決策

ランドセル寄付 ランドセル寄付をすることによって、途上国の子どもたちが教育を受けるきっかけにもなる。実際の例として、アフガニスタンでは武製勢力により女子の就学が認められていなかったが、ランドセル寄付により、親の考えが変わり就学できる割合が少しずつ増加している。

10代からの提言

世界で教育格差をもっとなくしていくためにも、発展国からのランドセル寄付のような困っている子どもたちに直接届くような寄付をもっと、お金ではなくしていくべきだと思う。



感想

今もなお教育格差がこんなにも広がっていることを改めて、実感した。また、学生でも募金だけが途上国の人々にできることではなく、「寄付」という形で支えることができると感じた。